

失多折軸孟門難進路可伶駢驥坦途過

〔玉山遺稿〕四題美人圖十八首

相對學藏鈎纖手紛未分忽見初弦影無端入暮雲 右藏鈎

拳

拳ハケント云フ其法種々アリト雖モ多クハ兩人相對シテ互ニ手指ヲ以テ輸贏ヲ決スル

モノナリ

〔倭訓彙〕中編七計けん略○中 酒にいふは拳字を書り唐山にて柎拳といふ古への拇陣也といへり

又打拳とも見え五雜俎に手勢令といふも同じ今唱ふる所のすううくちえまはまなどの數目も唐音也といへり

〔芝屋隨筆〕上拳をうつ事を漢土にて拇陣と云又にぎりこぶしにてするけんねぢなんごと云戯を猜拳と云猜はうたがふ事なり

〔飛鳥川〕子供寄あつまり咄合杯互にいたすに大方爺は山へ柴かり婆々は川へ洗濯などと云昔嘶專也しに今化○文は虫拳狐拳本の拳杯するもおかし

〔拳會角力圖會〕下むし拳

蛙蛇蚰延蛙はなめくじりに勝なめくじりは蛇にかちくちなはまた蛙に勝也向ひあわせにゐて一二三のころにて打事なり

〔嬉遊笑覽〕十飲食上蟲拳などは童部のみすなり拇指を蛙食指を蛇季指を蛞蝓ナカシとす相制するもて勝負をなす○中五雜俎六後漢諸將相宴集爲手勢令其法以手掌爲虎膺指節爲松根大指爲蹲鴟食

名稱

種類